

Light6 タイダウン箇所指示書



クラッチレバー

はじめに
作業を行う際は、モータのクラッチレバーを電動に切り替えて車輪部が固定された状態で行ってください。また、絶縁作業が実施済のことをご確認ください。
(別途、バッテリー絶縁手順参照)



Light6 外観

全体外観 (一例)

タイダウンはOマークのついた写真を参考に指示箇所に対してきちんと行ってください
禁止箇所へのタイダウンは車いす破損の危険がありますので行わないでください

※椅子フレームへの固定は行わないで下さい。



車椅子前方(繫縛可能箇所)



車体横フック



前輪キャストパイプ間

車椅子後方(繫縛可能箇所)



車体後方フック

車椅子前方(繫縛禁止箇所)



ティルトスライドパイプ
(前方)



アームパイプ

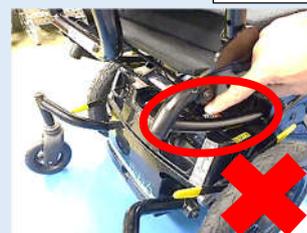
車椅子後方(繫縛禁止箇所)



後方キャスト&パイプ部



上部フレームパイプ部



ティルトスライドパイプ(後方)